

富士見市防災環境カルテ
 鶴瀬東2丁目南町会 位置番号 17

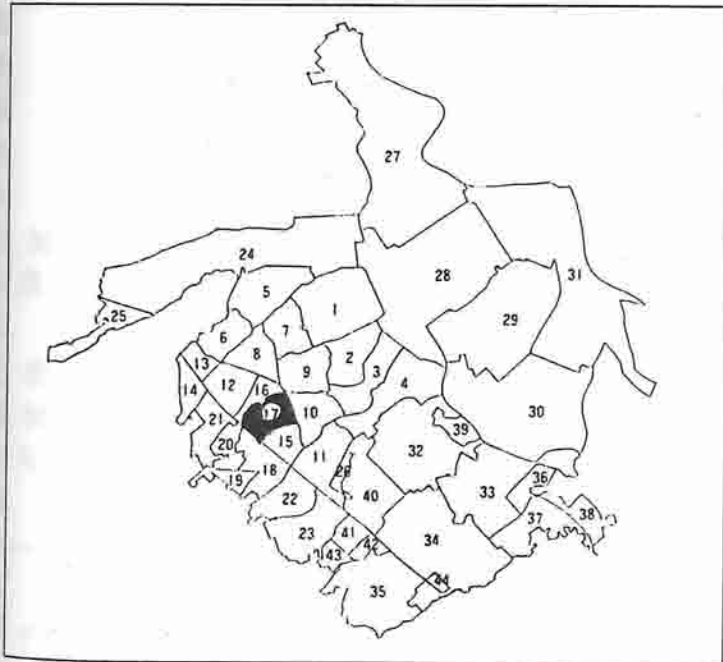
・概況

鶴瀬東2丁目南町会は、富士見市の西部に位置し、権平川沿いに北上する浅い谷と、この浅い谷で東西に2分された台地で形成されている。東側に県道大井・朝霞線、西側に東武東上線が通り、北側には緑の散歩道「貝戸の森」がある。南側は県道鶴瀬停車場線を境に鶴瀬東1丁目町会の市街地と接している。環境は、武蔵野台地上の住宅地と畑が融和した良好な地域である。台地は、宅地化が進み、住宅地、商店街を中心とした市街化が形成されている。

水害は、水害履歴から台風に伴う大雨により、入間東部農協鶴瀬支店西側の住宅地付近の畑が下水路の溢水のため冠水する内水災害が予想される。

地震災害は、木造建物密集地が出火、延焼の危険性がやや高いと予想される。

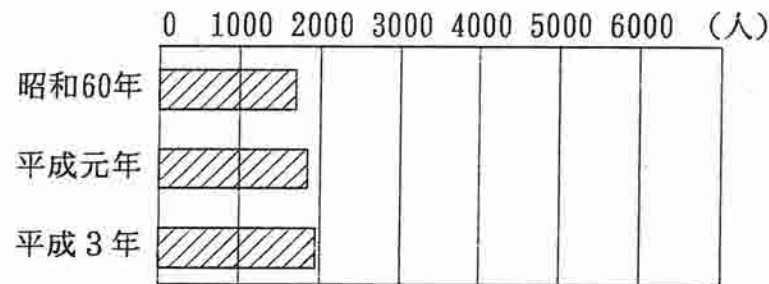
・位置図



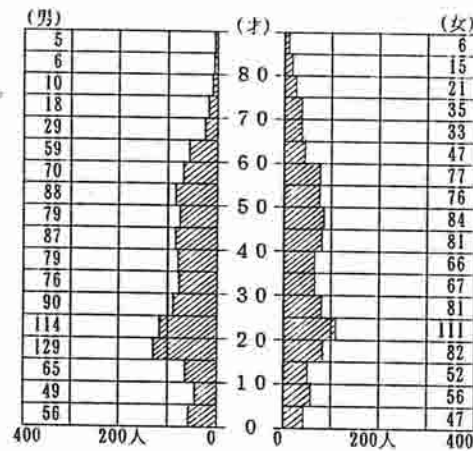
1. 基礎指標

・面積	0.176 km ²
・人口(平成3年10月1日現在) 男	983人
女	877人
計	1,860人
・人口密度	10,568.2人/km ²
・寝たきり老人数	1人
・ひとり暮らし老人数	21人
・世帯数	772世帯

・人口推移

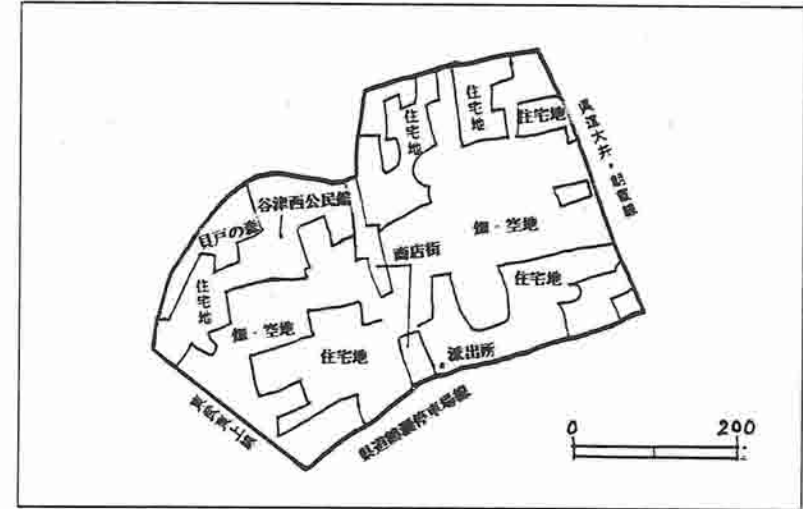


・年齢別人口(平成3年)

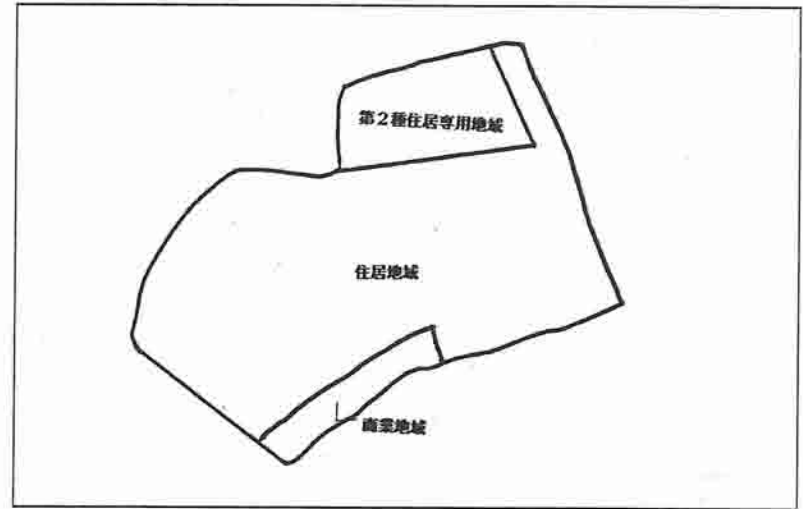


・商住工混在率住居系	93.3%
店舗系	5.0%
工業系	1.7%

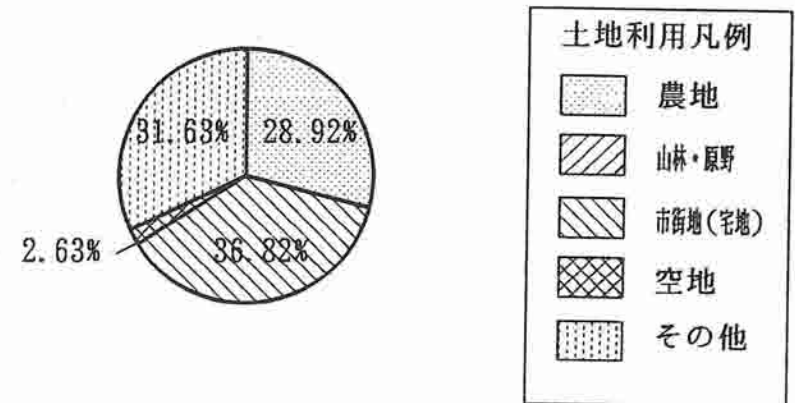
・町会現況図



・用途地域図



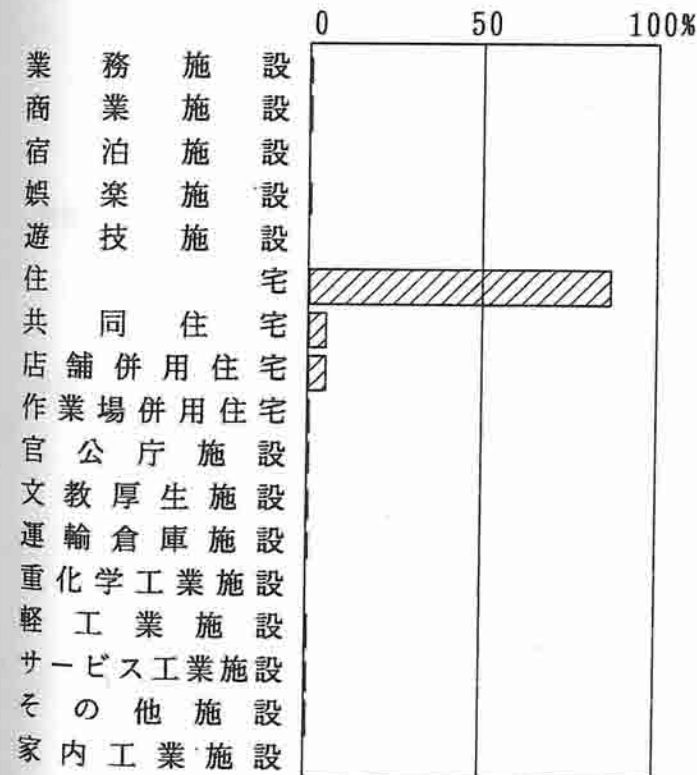
・土地利用現況



2. 建物指標

・建物棟数	773棟	
・木造建物	661棟	
・非木造建物	112棟	
・建物面積	31,727.10㎡	
・木造建物	25,051.90㎡	
・非木造建物	6,675.20㎡	
※建物面積は1階の面積		
・住宅率	87.7%	
・木造率	85.5% (661棟)	
・昭和34年以前の木造家屋実棟数	68棟	
・同上率	10.3%	
・建物階層別現況(木造建物)		
1階	284棟	43.0%
2階以上	377棟	57.0%

・建物用途別現況



3. 道路空地指標

・道路率	31本	176.1本/㎢
・幹線道路率	3本	17.0本/㎢
・公共空地面積	4,000.0㎡	
・公共空地率	2.3%	
・1人あたり公共空地	2.2㎡/人	
・公共空地内容(*指定避難所)		
名称	面積	
1. 高校	0㎡	
2. 中学校	0㎡	
3. 小学校	0㎡	
4. 公園	0㎡	
5. 緑の散歩道「貝戸の森」	4,000.0㎡	

4. 消防指標

所轄消防署	入間東部地区消防組合富士見消防署 応援協定 所沢市、川越地区消防組合、 新座市、志木市各消防本部
・消火栓本数	6本
・1消火栓あたり世帯数	128.7世帯/本
・消防水利貯水施設数	7 (3) か所 ()内は容量40トン以上の施設数
・消防団機械器具置場	0

5. 危険物指標

・給油取扱所	0か所
・一般取扱所	1か所
・屋内・屋外(タンク)貯蔵所	0か所
・地下タンク貯蔵所	0か所

6. 既往災害

・家屋浸水被害	床下	床上	道路冠水
昭和 年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
・崖崩れ被害 (年 ~ 年) 0件			
・火災出火件数 (年 ~ 年) 0件			
・1923関東大地震被害			
家屋全壊			0戸
家屋半壊			0戸
被害率			0%

7. 防災基盤施設

消防	0か所	
病院	0か所	
医 院	0か所	
休日診療所	0か所	
警 察	1か所	東入間警察署 富士見派出所
水防施設 その他の施設	3か所	パラペット 鶴瀬東2丁目排水ポンプ場 貯留池
・自主防災組織(数)	0	
・自主防災組織参加世帯率	0%	
・飲用井戸本数	0本	

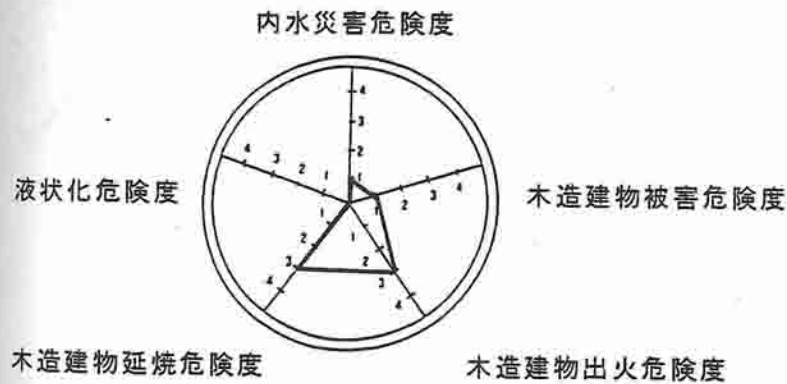
8. 危険度評価

・内水災害危険度	1ランク
・外水災害危険度	0ランク
・土砂災害危険度	0ランク
・木造建物被害危険度	1ランク
・木造建物出火危険度	3ランク
・木造建物延焼危険度	3ランク

地盤	地盤の地震動危険度	浅い谷 2	台地 1ランク
危険度	液状化危険度	0	0ランク

※ 危険度評価ランク

危険度	無	微	小	中	大
ランク	0	1	2	3	4



9. 地盤条件

地盤は、東部、西部の台地では硬く、浅い谷（権平川下流部の左岸）では比較的軟らかい。台地部では震度5（+）（強震の強い方）、浅い谷で震度6（-）（烈震の弱い方）が予想される。

10. 問題点の整理

災害発生要因		災害抑止要因	
1. 内水災害	住宅地内の下水路からの溢水。	1. 水防能力	権平川沿いのパラペット築造、貯留浸透工事が施工され、鶴瀬東2丁目排水ポンプ場、貯留池が設置されている。
2. 外水災害	無い。	2. 防災組織	無い。
3. 倒壊危険	台地部では家屋倒壊の危険性は低い。	3. 消防能力	世帯数と比較して消火栓数が少ない。地震火災が予想される住宅地内の生活道路の幅員が狭い。
4. 出火危険	浅い谷に沿った住宅地（鶴瀬東2丁目10番地、17番地内）で出火の危険性がやや高いと予想される。	4. 防火能力	木造家屋密集地域の防火能力は低い。
5. 延焼危険	不燃領域率が50%～70%と見込まれるため同上地域での延焼の危険性がやや高いと予想される。	5. 避難収容力	町会内には指定避難所が無いため、富士見台中学校（諏訪2丁目町会）を共用する。
6. その他の災害	無い。		

11. 解決の方向性

地震火災の危険性がやや高いと予想される地域の消防能力、防火能力の向上を図るため、消火栓の設置、生活道路の抜本的な処理が望まれる。避難可能な道路と住宅地内の生活道路の狭隘化の予防対策として、道路沿いにあるブロック倒壊、自動販売機の転倒防止などの指導が望まれる。

※ 想定震度 5（+）（強震(強)）

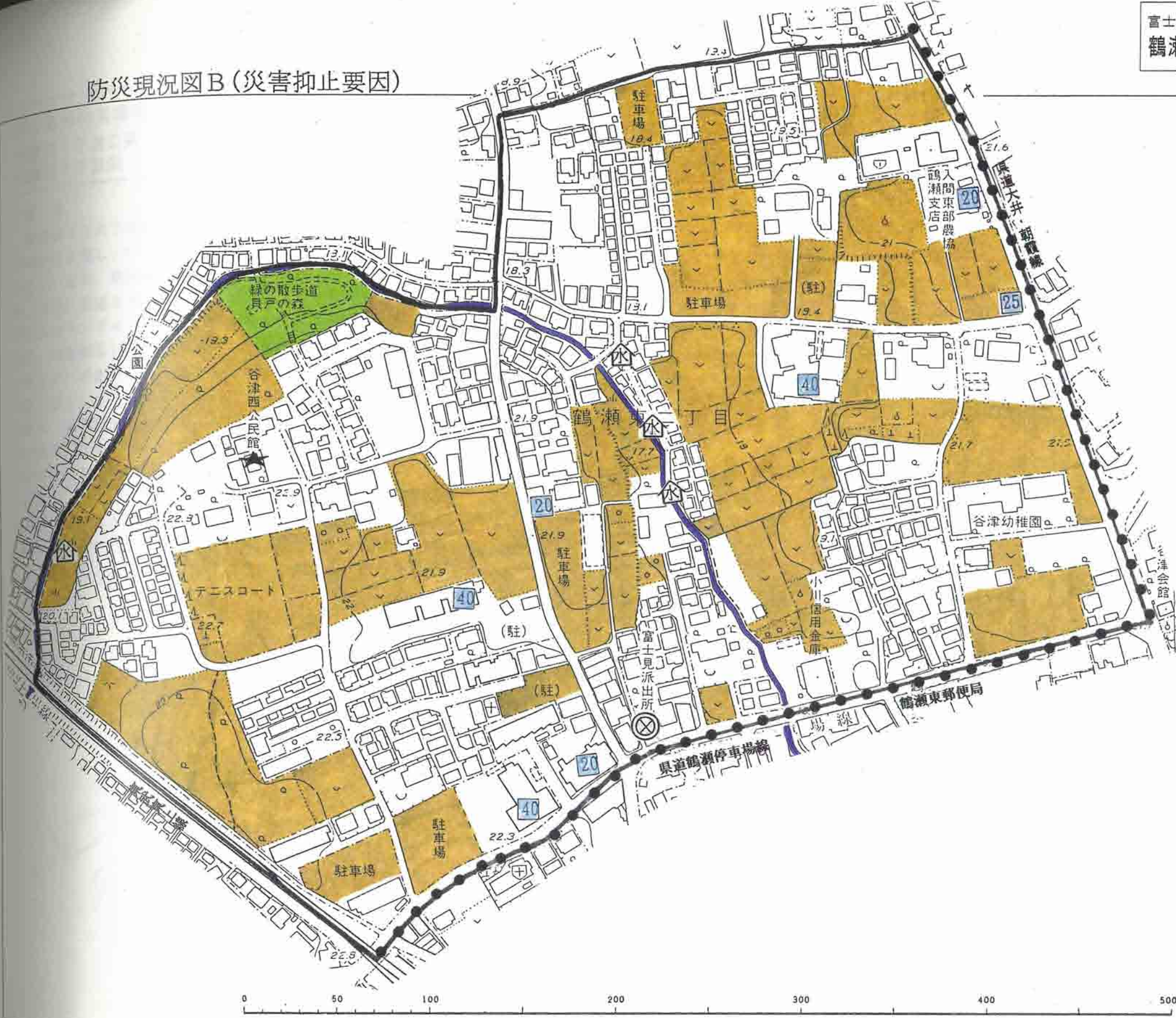
防災現況図A (災害発生要因)



凡 例	
●	給油取扱所
■	一般取扱所
⚠	危険物屋内タンク貯蔵所
⚠	危険物屋外タンク貯蔵所
⚠	危険物地下タンク貯蔵所
▲	L P G 充 填 所
△	橋 梁
▽	横断歩道橋
△	立 体 交 差
■	木造家屋密集地域
—	河 川 ・ 水 面
⚠	急傾斜地崩壊危険区域
■	盛 土
■	浅い谷・低地(谷底平野)

既往浸水域(平成3年台風18号)	
■	田の浸水地域
■	田の被害区域
■	畑の被害区域
■	床上浸水地域
■	床下浸水地域

防災現況図B (災害抑止要因)



凡 例	
	消防署・出張所
	消防団機械器具置場
	水防施設
	防火水槽・プール
	警察署・派出所・駐在所
	市役所・出張所・公民館
	防災行政用無線子局位置
	コミュニティ・集会施設
	保健所・保健センター
	病院
	医 院
	休日診療所
	指定避難所
	公 園
	河川・水面
	避難可能な道路
	幅員12m以上の道路
	幅員12m以上の道路 (計画中)
	学 校 (小・中・高)
	空地・水田・畑

